

令和8年8月19日開催

保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会

委員長報告

令和8年9月定例会

委員長 松本 進

それでは、去る 8 月 19 日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の 1 として「孤独・孤立対策支援事業の取組状況について」説明を徴しましたところ、見守り活動に関する協定締結による効果について問われ、これに対して、新聞販売店から、令和 5 年度は 6 件、令和 6 年度は 12 件、令和 7 年度は 6 件の情報提供があったとのことでありました。

このほか、見守り活動におけるデジタル技術の活用について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の 2 として「ねんりんピック彩の国さいたま 2026 の開催について」説明を徴しましたところ、世代間交流の具体的な内容について問われ、これに対して、市内の小中学校に応援メダルや歓迎用のぼり旗の作成を依頼しているほか、市内の中学校及び川口市立高等学校の水泳部の生徒に競技補助員として参加してもらう予定であるとのことでありました。

このほか、参加者の選出方法について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の 3 として「『川口市立医療センター経営強化プラン 2024—2027』の評価結果について」説明を徴しましたところ、看護師の離職対策について問われ、これに対して、相談体制の整備に加え、勤務シフトの柔軟な対応を行なっているとのことでありました。

このほか、緩和ケア病棟の利用率における計画値の見直しについて等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

なお、報告及び質疑応答の概要につきましては、お手元に配付してございますので、ご了承願います。

以上で報告を終わります。